

2025 年 12 月 24 日
石川県保険医協会

能登半島地震
国保・後期高齢者医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査
最終報告

能登半島地震の被災者の医療費の窓口負担免除について、石川県内の国民健康保険（以下、国保）と後期高齢者医療は 2025 年 6 月末で終了となりました。これを受け、県内の医師・歯科医師で構成する石川県保険医協会では、2025 年 9 月より国保・後期高齢者医療加入者を対象に、能登半島地震の被災者に対する医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査を実施しました。11 月 30 日までの回答を以ってこの調査の最終報告を行います。

なお、当会ではこれに先立ち 2025 年 5 月～8 月に医療・介護に関する患者・利用者アンケートを実施し、最終報告を当会ホームページにて公開しています。（<https://ishikawahokeni.jp/menjo250827/>）



調査結果のポイント

1	合計 2,355 件の回答があった。 免除終了後、通院や診療内容に影響があったとの回答が 69.4% 。
2	影響の内容は「通院回数を減らした」（891 件）が最多。「通院をやめた」（169 件）という回答もあった。 懸念されていた 受診抑制が現実化 していた。
3	影響の理由は「一部負担金がかかるから」が全体の 88.3% と、 一部負担金が受診の妨げ になっていることが明らかになった。
4	自由記述には、医療費免除再開を望む声が多く寄せられたほか、 体調悪化が既に生じている という意見があった。
5	精神的不安 を訴える自由記述が多数あり、今後の心身の健康状態が危惧される。

能登半島地震

国保・後期高齢者医療の窓口負担免除終了に関する受診実態調査 ＜最終報告＞

2025 年 12 月 24 日

石川県保険医協会

2024 年能登半島地震の被災者の医療費の窓口負担について、石川県内の国民健康保険（以下、国保）と後期高齢者医療は 2025 年 6 月末を以って免除措置を終了した。これを受け、石川県保険医協会はその影響を調べるため「能登半島地震の被災者に対する医療の窓口負担免除に関する受診実態調査」を実施した。

【調査期間】 2025 年 9 月 1 日～11 月 30 日

【最終報告】 2025 年 12 月 24 日

【対象者】 国保・後期高齢者医療の加入者

【回答方法】 ハガキ又はオンラインより回答

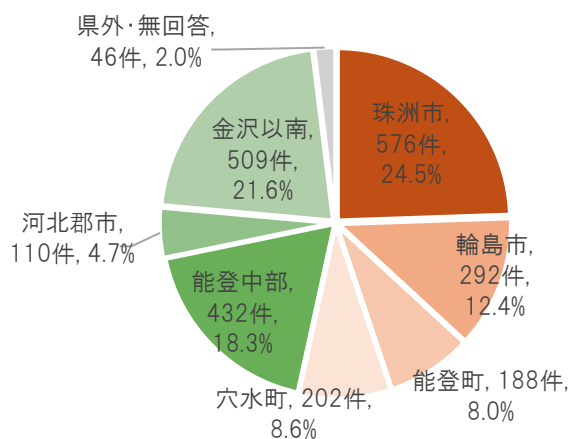
【回答数】 2,355 件（ハガキ 2,296 件、オンライン 59 件）

【ハガキ配布枚数】 23,170 枚

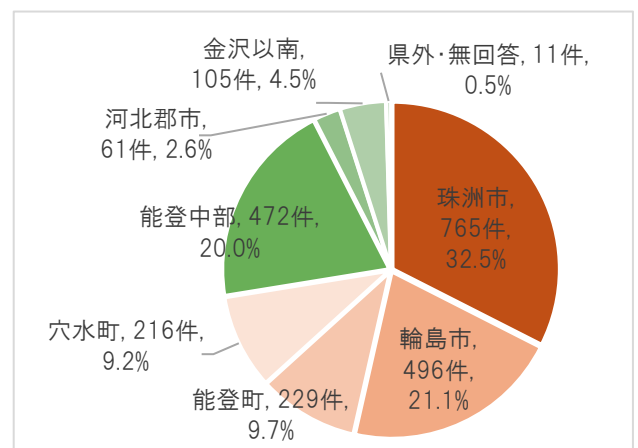
※ハガキ配布方法…会員医療機関の窓口で配布したほか、仮設住宅へ配布。

問 1 居住する市町および住民票所在地

居住する市町

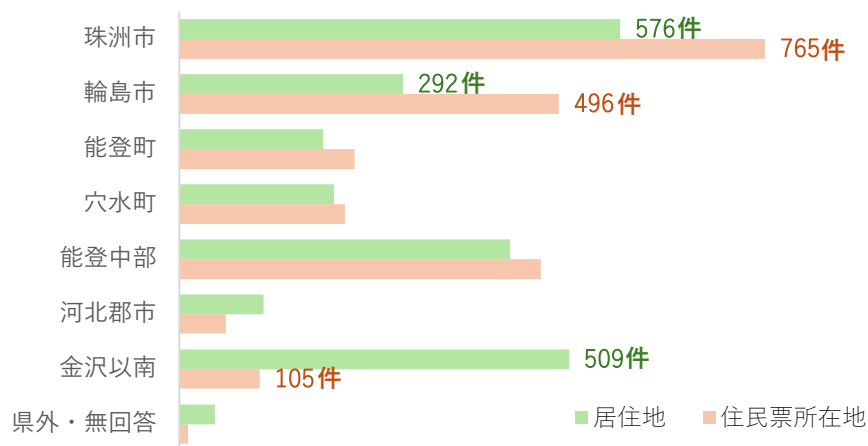


※住民票所在地の割合



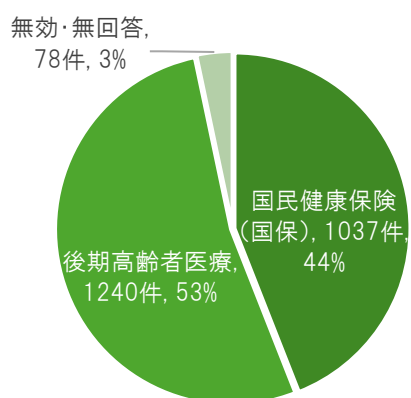
▶住民票所在地を離れた生活が続く

居住地に関して、奥能登四市町（珠洲市、輪島市、能登町、穴水町）に現在居住していると回答したのが 53.5%だったのに対し、「住民票所在地」は 72.5%にのぼった。現在も多くの方が住民票所在地から離れた地域での生活を続けていることがうかがえる。今後住民票を現在の居住地に移す動きが進めば、能登からの人口流出問題はさらに深刻化・顕在化する可能性がある。

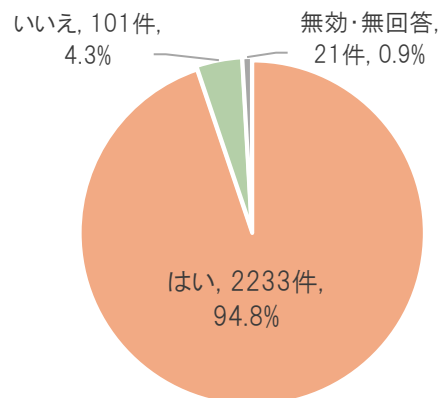


奥能登四市町				能登中部				河北郡市				金沢以南			
居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票	居住地	住民票
珠洲市	576	765		七尾市	127	156		かほく市	26	14		金沢市	378	74	
輪島市	292	496		志賀町	237	256		津幡町	25	6		野々市市	45	7	
能登町	188	229		中能登町	23	23		内灘町	59	41		白山市	43	11	
穴水町	202	216		羽咋市	40	34						川北町	0	0	
				宝達志水町	5	3						能美市	12	1	
												小松市	24	10	
												加賀市	7	2	

問 2 加入している医療保険

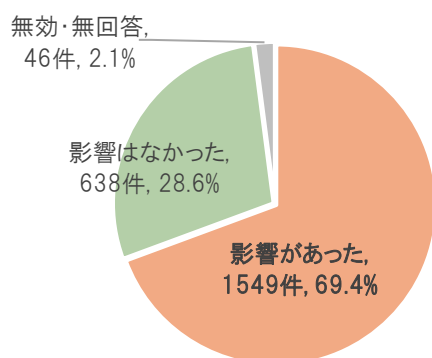


問 3 免除の対象か



加入している医療保険については、国民健康保険が 44.0%、後期高齢者医療制度が 52.5%と、回答割合に大きな差はなかった。また、回答者の 9 割以上が免除対象者であった。

問 4 医療費の免除終了後、通院や診療内容に影響があったか



n = 2,233（免除対象者）

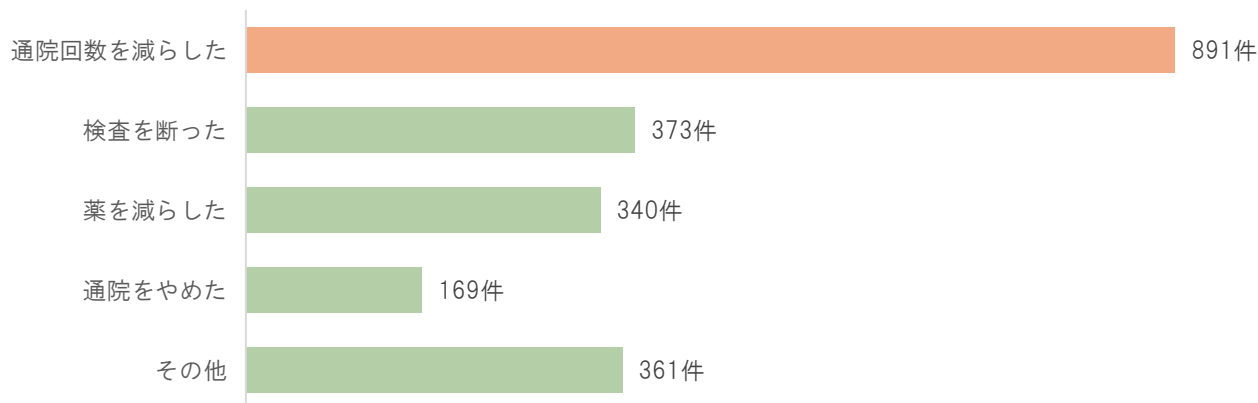
▶ 免除終了後の影響

免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」との回答は **69.4%** だった。本年5月～9月（主に免除終了前）に当会が実施した調査では「医療費の免除が終了した場合、通院に影響があるか」の設問に対し 85.4% が「影響がある」と回答していた。割合は若干少なくなったものの、免除終了前から予想されていた通り、実際に **7割近くの人** の通院や診療内容に影響が出てきている。

住民票所在地に基づく市町ごとの「免除対象者数」と「免除終了後の受診状況に影響ありと回答した数」、またその割合については以下の表のとおり。

奥能登四市町		512／736	能登中部		100／152	河北郡市		6／12	金沢以南		41／70
	珠洲市	69.6%		七尾市	65.8%		かほく市	50.0%		金沢市	58.6%
	輪島市	65.3%		志賀町	77.5%		津幡町	40.0%		野々市市	83.3%
	能登町	65.7%		中能登町	68.2%		内灘町	69.4%		白山市	72.7%
	穴水町	77.3%		羽咋市	71.4%					川北町	0%

問 5 免除終了後、通院にどのような影響があったか（複数回答可）

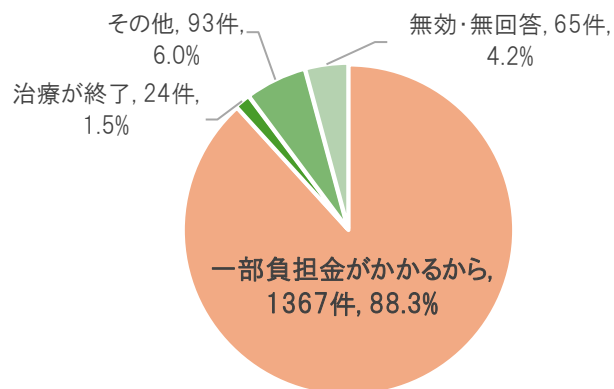


n = 1,549（問 4 で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」と回答した人）

▶ 受診抑制の実態

影響の内容では、「通院回数を減らした」（891 件）が最多となった。この数は問 4 で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」とした 1,549 件の 57.5% に上る。それ以降は「検査を断った」（373 件）、「薬を減らした」（340 件）と続くが、「通院をやめた」（169 件）との回答もあり、懸念されていた受診抑制が現実化していた。

問 6 影響の理由は

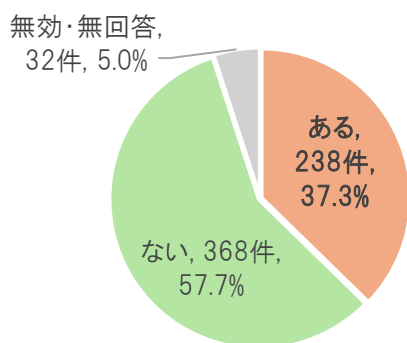


n = 1,549（問 4 で免除終了後、通院や診療内容に「影響があった」と回答した人）

▶一部負担金が受診の障壁に

影響が出た理由として 9 割近くが「一部負担金がかかるから」を選択しており、一部負担金が障壁となって、患者に必要な医療が届きにくくなっていることが明らかとなった。

問 7 医療費の窓口負担を支払うため、生活に影響はあったか



n = 638（問 4 で免除終了後の通院や診療内容に「影響はない」と答えた人）

▶受診費用が生活を圧迫

問 4 で免除終了後の通院や診療内容に「影響はない」と答えた人（638 件）に、「窓口負担（一部負担金）を支払うために、生活に影響があったか」と質問したところ 37.3%（238 件）が「ある」と回答した。生活への影響の内容について自由記述を求めたところ、「生活費、食費を切りつめた」という記述が最多で、多くの人が医療費を捻出するために生活費を切り詰めている現状がわかった。

▶生活困窮の訴え

問7では、医療費負担による生活への直接的影響の内容とは読み取れないものの「年金生活が苦しい」「医療費の負担が大きい」といった声が寄せられたほか、そもそも「生活が苦しい」といった意見、「物価高騰」の影響についての言及も多く見られた。また、問4で「影響がある」と回答した人（集計外）からも、「食料品の購入を減らした」や「エアコン、電気をあまりつけない」など、同様に生活費を切りつめているという意見が多く寄せられた。

医療にかけるお金がないというだけでなく、生活費そのものに余裕がない、被災者の家計の厳しさがうかがえる。

（自由記述抜粋）

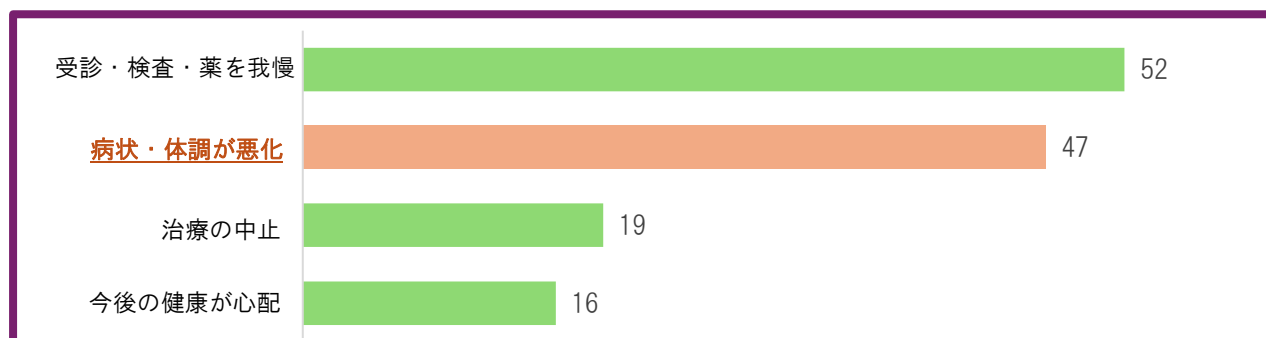
- 年金生活のため、ほかで節約。一人の年金では生活が厳しい。
- 食費を抑えることでしか生きていけない。
- 家の修繕でお金がかかるため病院へ行けていない。
- 通院回数や薬等を減らすことはできないので、これまで通り受診せざるを得ないが、住宅再建等があり、出費は大きい。
- 地震の影響で働くところがなく、これから医療費がかかってくると思えば免除がどれだけありがたいかわかりません。
- 今後の生活のために、食費を減らしたり、電気料金を減らしたりといろいろしている。住宅、再建、修繕、アパートにしろ、今よりお金がかかるため。

自由意見

自由意見欄には 692 件の意見が寄せられた。意見の多かった「受診抑制や健康不安」「医療費免除について」「くらしやお金」の 3 項目に分類し報告する。なお、回答が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に計上している。

最も多くの意見が寄せられたのは「くらしやお金」についての 373 件で、次いで「医療費免除について」が 315 件、「受診抑制や健康不安」が 134 件となった。以下、それぞれの項目について詳細をみていく。

《受診抑制や健康不安》



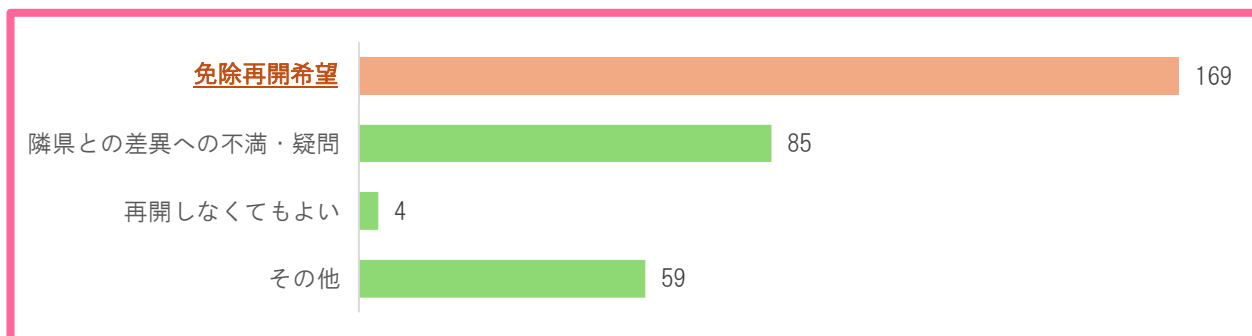
▶病状・体調の悪化

「受診や薬を我慢した」「治療を中止した」という受診抑制に関する意見が多く、この 2 つを合計すると 71 件にのぼる。また既に病状・体調の悪化が生じているという訴えも 47 件あり、状況は深刻である。今後の健康に対する心配の声も 16 件寄せられ、受診抑制や治療中断による悪影響が更に増大することが懸念される。

(自由記述抜粋)

- 被災後、なかなか再建が進まない状況が続き約 1 年 9 か月が経ち、**心身の不調**が出てきています。しかし生活の余裕がなく、病院を受診できずにおり、疲労やストレスが重なっていきます。
- 地震のため、家も家財も全部なくなっていろいろ生活するためにお金がかかり、そうなるについつい体調わるくなくても病院をがまんしてひどいままでいる事が多くなっている。何とかならないか。
- 仮設住宅に入居してから、体の不調が次々出ました。
- 年金生活で慣れない土地で生活しながら、地震後は体調が悪くなる事が多く、病院に行きたくてもお金がかかるため我慢する事が多くなった。本当に困っています
- **病院の通院回数を減らし、回数を減らしたことにより、病気が悪化し、とてもつらい状況です。**

《医療費免除について》



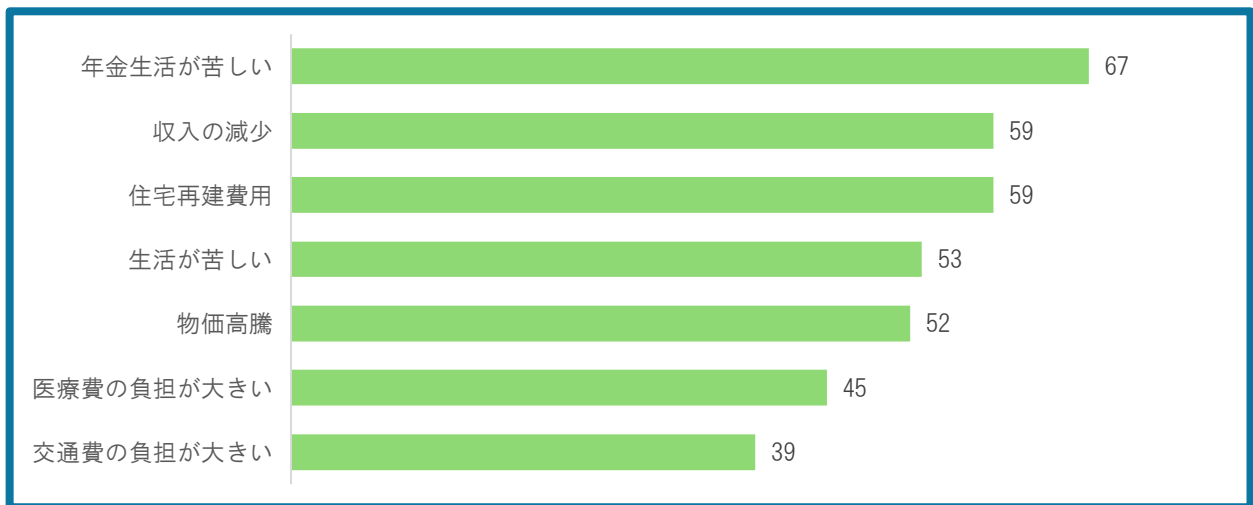
▶ 免除再開を望む声多数

医療費免除再開を望む意見が最も多く 169 件だった一方、免除を再開しなくてもよいという意見は 4 件にとどまった。また富山県、福井県の国保と後期高齢者医療が 9 月末まで免除を延長する中、石川県が 6 月末で終了したことに対する不満・疑問が 85 件となったほか、免除に対する感謝の声も複数寄せられた。

（自由記述抜粋）

- 再建は道半ばであり、せめて 2 年間は免除が必要と思います。
- **被害が大きかった石川県で免除終了はなぜか。** 年寄りに金をかけられないと言っているようなもの。みんな他人事。
- せめて仮設にいる間くらいは医療費免除があれば助かります。
- 現在、富山県にて受診しているが、富山県は継続しているのに石川県に住民票があるため免除とならないのはとても不公平を感じる。
- まだまだ復旧、復興も進んでいません。医療費免除の再開を是非お願いしたいです。
- 富山、福井県が負担免除が引き続き実施されているのに石川（とくに能登）地区の高齢化率が高く、医者、病院に行く回数を減らしている、との話を聞く。地震での直接死より、その後の健康問題で亡くなる方が多くなっていることから、長い目で見て**免除を復活するべき**です。

《くらしやお金》



▶少ない収入

くらしやお金に関することでは、年金額の少なさとそれによる生活の困難さの訴えが多かったほか、**地震の影響とみられる収入減**に関する意見が寄せられ、被災地の**なりわいの復興が未だ不十分**な様子が見えてくる。

▶のしかかる住宅再建費用

住宅再建費用に関しては、負担の大きさや支払いに対する不安、それに伴う生活の苦しさを訴える声が上がっている。また、もともとの生活の苦しさに加え、地震がなければ生じるのこともなかった住宅再建費用が重くのしかかり、被災者の生活再建を一層困難にしている。

▶物価高騰や免除終了による生活の圧迫

食費やガソリン代などの物価高騰、免除終了後の医療費などが、被災者の日々のくらしへ大きく影響しており、自由記述からはその負担の重さが伝わってくる。

(自由記述抜粋)

- **年金が少なく、いつ治療断念をするか考える毎日です。**
- 地震、大雨で生活が苦しい。医療費が免除になれば助かります。
- 物価高と住宅の再建に困っています。医療費の免除をお願いします。
- 何でもかんでも値上がりで食べる事で精一杯です。**家もなくなり、仕事もなくなった。**どうすればよいのか毎日くよくよしております。
- 病院での3割負担は意外に金額が高いです。**地震で職を失い**今はパートなので**収入が減りました。**
- 物価高に、通院にガソリン代も高い。住宅再建にもお金がかかる。この現状では食費と医療費を減らすしかありません。せめて医療費を免除してほしい！
- 生活再建のため、まとまったお金が必要になりました。どこかで切り詰めなければなりません。受診を控えるしかありません。
- どうか被災者の声を国や県に届けて下さい。年金だけの収入で生活しており医療費が重くのしかかっています。**住まいの再建へ向け、食費などの生活費を切り詰めていますが限界**です。できるかぎり病院の受診を控えます。

自由記述で寄せられた意見

▶精神的不安の訴え

前項の自由意見欄だけでなく、各設問にも多くの自由記述が寄せられた。

医療、健康、経済的負担、復旧・復旧、将来に対してなど、領域は複数にまたがるが、どの設問においても「不安」「つらい」「悲しい」「困っている」「助けて」といった**精神的不安**が読み取れる訴えが多数あったことが特徴的であった。被災者の置かれた厳しい環境と、その影響の一端が表れていると思われ、今後の**精神状態の悪化や、それに伴う疾病**が危惧される。

（自由記述抜粋）問7より

- みなしが終了してアパート代、病院代の負担は年金だけの収入では大変です。今後が**不安**です。
- 物価が高いので困ってます。**助けて**ください。
- 医療費負担が多くなったので生活がとても苦しくなり、**つらい**ですし、かわいそうです。
- 食費、医療費、住居固定費等が大きいため、妻の働く勤務数を増やし、体力的、精神的にとっても**苦しい**。**つらい**。
- 家もなく仮設生活で再建も出来ず、先の生活が心配です。

（自由記述抜粋）自由意見欄より

- 後期高齢者で年金生活。これからの生活が心配です。
- 夫が難病のため医療費免除はとても助かりました。住宅関連でお金が足りず困っています。老いた身ですべてが無くなり、**前が見えません**。
- 気持ちが落ち着かない。先々のことを考えると、**気が重い**。高齢者としては、結果をどうこうではなく気持ちの整理が必要です。アンケートは続けてほしい。
- ぜんぜん、話にならないくらい進まず、年が行くだけ。体は弱る一方で、仮設住宅で暗い毎日です。
- **生きるのがつらい**、生活苦。先が見えない。いっそ何かを成し、死んで、世に窮状を訴えた
- 震災後より何も変わらず、先が見えない不安な生活、。せめて医療費免除の延長ぐらいは。
- S.53年、苦勞して建てた家。地震のため、更地になりました。**悲しい**です。
- 家再建の目途も立たぬのに医療費もかさみ、このまま死んでいくのかと思い、**情けない**気持ちです。87才。
- 富山、福井県はまだ終了していないのに！高齢者になって、家も全壊で土地も液状化で、医療費終了で今後どう生活していけばいいのか。**助けて**ほしいです。

まとめ

▶受診抑制の現実化、既に体調悪化の声も

調査結果から、医療費一部負担金免除の終了が被災者の受診行動に大きく影響し、危惧されていた**受診抑制が現実化**していることが明らかになった。問5の免除終了後の影響に対する回答では「通院回数を減らした」が891件あったが、これはアンケート回答者全体の2,355件の約4割（38.0%）に当たる。この数字をそのまま被災地区の住民全体にあてはめることはできないが、地区全体では相当数の人が我慢して通院回数を減らしたり、受診をあきらめたりしていることが推察される。また自由記述では、受診抑制により既に**病状・体調の悪化が生じている**という深刻な現状も報告された。

▶病気の発見遅れや重症化を強く懸念

上記のとおり、既に体調悪化が出始めているが、診療中断による慢性疾患の悪化、歯科受診の遅れによる口腔機能の低下などは、時間の経過に伴いこれからますます増加する可能性がある。医療費免除終了に伴い、経済的理由から適切な医療を受けることができなくなれば、**病気の発見遅れや重症化**といった重大な事態を引き起こすことが強く懸念される。

▶精神的不安の訴え多数

被災者は震災前の日常を取り戻したとは言い難く、未だ困難な状況にある。急激な環境変化や過酷な生活が長引く中で、精神的負担は平時より増大していることは想像に難くない。実際に自由記述では、健康への影響が既に生じているという内容のほか、精神的不安を訴える記述も多く見られた。被災者を取り巻く厳しい環境と、その影響の一端が表れていると思われ、今後の精神状態の悪化やそれに伴う疾病が危惧される。

▶健康を守るため医療費除再開を

調査を通じ、医療費免除終了によって被災者が適切な医療を受けられない状況となっていること、それによって既に**健康状態の悪化が生じ始めている**ことが明らかとなった。また回答には**精神的不安の訴え**も多く、今後心身の健康状態がさらに悪化する可能性は高い。行政やボランティアによる見守り事業などによる受診勧奨はもちろん大切で必要なことではあるが、一部負担金が障壁となりそもそも受診できない人が多くいることもわかった。経済的負担の心配なく受診できる環境を整えることは、被災者の心身の健康を守るために非常に重要である。以上から、**医療費免除の再開を強く求める**ものである。

- ① 自由意見欄 仮設住宅で生活しています。医療費免除が終了し、受診の回数を減らしたため体調が悪化し、入院する事となりました。経済的負担を減らすために受診控えが余計負担になってしまいました。福祉と富山が免除されているなら、なぜ石川も石川県保険医協会 電話(076)222-5373 免除にならないのか? 不満足です。
 - ② 自由意見欄 長い間の免除大変ありがたかったです。期間終了してしまいましたが定期的に受診しなければならぬので、これからの負担が大きいです。少しでも調子を整えたいです。石川県保険医協会 電話(076)222-5373
 - ③ 自由意見欄 地味の際に、肩傷はなかなか治らない。地味を境目に、着のものを洗濯して、お金がなく、いまだに病院にかかれないで苦しんでいる。
 - ④ 具合が悪い時でも我慢してしまう。病状の悪化が心配である。年金受給の身には一部負担は免除してほしい。心える。
 - ⑤ 自由意見欄 毎月のんている薬はかき足りないや足指の痛みはれど交通費やらかかると思い自己流で済ましてひどなり病院に行くほど早くないとか二つ三つ、お金がかかるといってうらやま。
 - ⑥ 自由意見欄 年金生活で、慣れない土地で生活しながら地震後は体調が悪くなる事が多く、病院に行きたいけどお金がかかる我慢するしかない。本当に困っています。石川県保険医協会 電話(076)222-5373
 - ⑦ 自由意見欄 医療費の心配をしなくても、病院に行けるという安心感。本当に有難かったです。今は生活者のことを考えると、この足をふんでいきます。
 - ⑧ 物価高で生活費が増え、年金だけの暮らしは大変です。出費を抑えるために、7月から通院をやめました。体調が悪くなっていくのを感じますが、仕方がありません。
 - ⑨ 医療費の一部負担は、被災から立ちあろうとしている生活をより苦しくしています。
 - ⑩ 癌ステージ4。治療を変える欲にいかにも向かいはいいVしたが、食事お風呂など休めるしか無い。
 - ⑪ 自由意見欄 今にのみなし仮設のお世話になっており、もう、水もろくも見たりにておりますか決まりませんし、地元の家賃も高く、またまた進んでおります。つづいて生活しておりますが、元気が前のように出ません、ささいいこと。
 - ⑫ 自由意見欄 被災後、なかなか再建が進まない状況が続き約1年9カ月が経ち、心身の不調が出てきています。しかし生活の余裕がなく、病院を受診できずにより、疲労やストレスが重なっています。
 - ⑬ 所得制限や仮設住宅居住者限定などの制限を設けて良いので復活して欲しい。働きたくても働けない人や高齢者を見捨てないで欲しい。
 - ⑭ 今、病院の通院回数を減らし、回数減らしたことで、病気が悪化したことも分かる状態です。物価高で生活も難しく、医療費もこれ以上……もう助けてほしいです。
 - ⑮ 医療費がかさむので---通院回数も減らし(部屋に)泊り込みもやりかねなくなりました。
 - ⑯ 自由意見欄 (東北、関東等ではまだ終わっていないので!!) 高齢者になって、家も全壊で土地も液状化で、医療費終了で今後どう生活していけばいいのか、助けてほしいです。
 - ⑰ 自由意見欄 地震の影響から治療が必要になったが一部負担金、交通費が高額になり、我慢している現状です。負担軽減されると安心して治療通院できるため、検討をお願いします。
 - ⑱ 自由意見欄 免除の継続をお願いします。生活費も切り詰めています。住居再建でお金が足りずに困っています。そのため及科を眼科の通院を止めました。眼科医院も痛くもがまんして、通っています。
 - ⑲ 自由意見欄 ク月から治療代やリハビリ費用が大きくなり、困っています。高齢な親は家を失っています。面倒みてもらっている中で未だ家の補修は順番待ちです(年金暮らし)「死にたい」と言ってる被災老人たちを助けて下さい!
 - ⑳ 自由意見欄 今まで住んでいた、お医者さんの所に通っています。先生の顔をみるととても安心するので、病気を癒えていても、病気をそうやって心の安んじを保てるので、27日~31日に1回通院。少ない体力ながらも、とても不安です。石川県保険医協会 電話(076)222-5373
 - ㉑ 経済的に負担があり、受診するのがイヤに悩んだ。精神的にも不安に悩んだ。

自由意見欄

- ②② 終の住処も決まらない。小ばな部屋で...
自分たちだけじゃないけど、つらいね

自由意見欄

- ②③ がん検診で、要検査と指摘されたが
受診をためらっている (医療費負担の増額が
ある)

自由意見欄

- ②④ 被災者の多くが、年金生活者です。
医療費免除の終了が、通院に多大な悪
影響を及ぼすことと想像できたと感じます。
もう少し被災者の声を聞いて頂きたいなと思います。

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 お電話ください

自由意見欄

- ②⑤ 震災後は、気が張っていたのが、1年すぎて
ジワジワ いろんな所に疲れが溜っている
ように思う。体調不良は、これからでくる。

自由意見欄

- ②⑥ 自営業をいおり、地震の影響で収入が半になり
まひの、みよし仮設の家賃補助ももうすぐ打ち切り
になり、食費、医療費はなるべく使わないように思っています。

自由意見欄

- ②⑦ 地震後、家も壊れ、仕事もなくなり、体調もくずれ...
この先の事は考えられませんが、病気にし、入院
や、手術を受ける...とでもなるとなり、病院にも
行っています。おまじけが、何人もの人からも

石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 聞いています。

自由意見欄

- ②⑧ 地震、津波、豪雨、二、三重の被害で、大変
再建はまたまた、医療費の負担増、物価も
より大変です。お金の心配は、治療を受ける
石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 です。

自由意見欄

- ②⑨ 自分で医療費と節約するには、限りがあります。
食費、衣料品等も削りしかありません。
お金の余裕とくすいたら、本末転倒ではおおいでせう

- ③⑩ 食費を抑えて生活しているが
カツパ、表面は、食べることも少なくなった

- ③⑪ 同年代で、あると回答した、生活への
影響大です。食費も切詰めています。

自由意見欄

- ③② 震災以降、具合が悪くなることが増え、
医療費の負担が大きい。免除の時は安心して
病院にいらして、今後、金銭面を心配です。

自由意見欄

- ③③ 収入減に物価高、被災者がためらう
受診ができるようにしてほしいです。

自由意見欄

- ③④ 単体の不便なので、リハビリと
デイサービスに行っています。生活費をきり
つめています。たすけて下さい。

自由意見欄

- ③⑤ 能登半島地震で一番被害が大きかった石川県が免除、終了
で隣の富山県や福井県で免除が実施されているのは
納得できません。自宅の修理や再建など、なかなか進まず、これ
から高額な支払いが山積みで、お先真っ暗です。

自由意見欄

- ③⑥ 物価高に、通院にガリリン代も高い。住宅再建に
もお金がかかります。この現状では、食費と医療費を
へらすしかありません。せめて医療費を免除してほしい!!

自由意見欄

- ③⑦ 病院に行くのがおそろしく、
不安を感じたりして居ます

自由意見欄

- ③⑧ ①私は重度のうつ病だから1ヶ月
2万54円もかかるので通院をせざるを得ない
②肝こうへんで半年に1回 検査をしなければならぬが、お金がかかるので、せめて

自由意見欄

- ③⑨ 3.11と、違うんですが、復興は
まだです。港で農業で、自宅で
前線、後援...

自由意見欄

- ④⑩ 生活再建の為、まとまったお金が
必要になりました。どこかで折りつめな
ければなりません。受診をひかえるしか
ありません。

自由意見欄

- ④⑪ 家を壊し、仕事も12月でなくなり、
仮設に居ます。再建も決りず、
生活費も、かなり足りず、医療費も、
石川県保険医協会 電話 (076) 222-5373 足りません。